

調査対象 (一社)愛知県環境測定分析協会 全正会員 69  
有効回答数49(前年41)

回答率 71.0%(前年59.4%)

調査期間 平成31年4月～令和2年3月

調査方法 アンケート用紙の配布及び回収による調査

表示方法 DI値:景気の上向き、下向きを示す指数 DI値=良い(%)－悪い(%)

DI値が0以上の場合 ⇒ 景況は上向き  
DI値が0の場合 ⇒ 景況は横ばい  
DI値が0以下の場合 ⇒ 景況が下向き

Q1 社外からの受注が過半数を占めている 社内(親会社等)からの受注が過半数を占めている	31社	63.3%	↗	前年回答 21社(51.2%)
	18社	36.7%	↘	20社(48.8%)
	49社	100.0%		41社(100.0%)

【Q1コメント】

全体回答数が大幅に上昇。  
「社外が過半」の回答が大きく増え、「社内が過半」の回答は同程度。

Q2 貴事業所の令和元年度(4月～3月末見込)の景況は?	全体割合	
良い 6社	好転 ↗	12.2%
変わらない 29社	変化なし ↘	59.2%
悪い 14社	悪化 ↗	28.6%
49社		100.0%

DI値  
▲16.3  
a(好転率)-b(悪化率)  
b 28.57 (昨年値 ▲4.9)

【Q2コメント】

悪化の回答が大幅に増加し、DI値のマイナスは更に大きくなった。

Q3 「良い」と回答した要因(複数回答可)	全体割合	
1 受注数量の増加 5件	71.4%	↑
2 受注価格の上昇 1件	14.3%	↗
3 取引先の増加 0件	0.0%	
4 技術力の向上 0件	0.0%	
5 入札方式の変更 0件	0.0%	
6 新規分野の拡張 0件	0.0%	
7 業務の効率化 0件	0.0%	
8 ISOの取得効果 0件	0.0%	
9 その他 1件	14.3%	↗
7件	100.0%	→

<過去DI値>

H30年度 -4.9  
H29年度 4.3  
H28年度 6.4  
H27年度 8.7

【Q3コメント】

「良い」と回答した要因は「受注数量の増加」が大半を占めた。

Q4 「悪い」と回答した要因(複数回答可)	全体割合	
1 受注数量の減少 14件	56.0%	→
2 競争の激化 7件	28.0%	→
(競争相手が県外) (4)件		
(競争相手が県内) (3)件		
(その他) (0)件		
3 価格の低下 3件	12.0%	→
4 入札方式の変更 1件	4.0%	→
5 その他( ) 0件	0.0%	
25件	100.0%	↗

【Q4コメント】

「悪い」と回答した要因の総数は倍増した。  
要因の傾向は昨年と同様であった。

Q5 令和2年度の景況見込みは?	全体割合	
良くなる 1社	2.0%	↘
変わらない 35社	71.4%	→
悪くなる 13社	26.5%	↗
49社	100.0%	

【Q5コメント】

「悪くなる」が大幅に増加し、全体として厳しい予測となった。

Q6 【参考】現在の経営課題(最大4つまで)	全体割合	
1 技術者教育 33件	21.7%	→
2 設備・機器等の更新 23件	15.1%	→
3 従業員の確保 22件	14.5%	→
4 人件費の増加 20件	13.2%	→
5 需要の停滞 19件	12.5%	↗
6 事業承継 11件	7.2%	↗
7 IT・システムの更新 10件	6.6%	→
8 経費の増加 7件	4.6%	↘
9 取引条件の悪化 3件	2.0%	→
10 法令順守 3件	2.0%	→
11 その他(働き方改革への対応) 1件	0.7%	→
152件	100.0%	

【Q6コメント】

「需要の停滞」が増加し、DI値のマイナス要因を裏付ける回答となっている。新たに「事業承継」に関する課題が見受けられるようになった。

【その他の回答者のコメント】(例年、会報誌「あいかんきょう」には掲載していない)

- ・受注競争が激化し、価格の低下に歯止めが止まらない。
- ・災害やウイルス感染等による事業停止時に備えたBCPの策定、企業間(愛環協会員等)の連携・支援体制構築が急務と思われる。
- ・今後、コロナウイルスの影響が少しずつ出てくるのが不安。

【まとめ】

DI値は昨年に引き続きマイナス値であり、11.4ポイント悪化し▲16.3となった。前年に比べ「良い」の比率は若干増加しているものの、「悪い」の比率が倍増したことによりDI値は大幅なマイナスの結果となった。「需要の停滞」を経営課題として挙げた事業所が昨年よりも増加し、DI値の悪化や次年度予測「悪くなる」を裏付ける結果となっている。

なお、本調査は2月中旬～3月中旬にかけての実施であり、新型コロナウイルスによる影響は反映されていない。新型コロナウイルスの影響を把握するためには、適切な時期に再調査することが望ましい。